

さくら市 議会だより

市民すべてが、
暮らしやすいと実感できる
魅力あふれる

「さくら市」を目指して

第2回定例会 第1回臨時会	のあらまし	2
会議結果・賛否の公表		3
総務常任委員会		4
建設経済常任委員会		5
文教厚生常任委員会		6
一般質問ここが聞きたい		8
議会レポート		16
どうなったんべあの質問は		17
市民の声・次回の定例会の予定		18



氏家中学校



喜連川中学校



会議結果・賛否の公表

平成28年 第2回定例会

※議長（永井孝叔）は採決に加わりません。
（○…賛成、●…反対、欠…欠席）

議案番号	件名	議決結果	議決日	合計		矢澤功	小堀勇人	手塚定	角田憲治	鈴木恒充	渡辺幸雄	石岡祐二	大橋悦男	若見孝信	永井孝叔	加藤朋子	小菅哲男	福田克之	菅原孝明	笹沼昭司	櫻井秀美	岡村浩雅	大河原千晶	賛成	反対		
				賛成	反対																						
条	1	専決処分の承認を求めることについて（さくら市税条例及びさくら市税条例の一部を改正する条例の一部改正）	承認	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	専決処分の承認を求めることについて（さくら市都市計画税条例の一部改正）	承認	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	専決処分の承認を求めることについて（さくら市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	専決処分の承認を求めることについて（さくら市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正）	承認	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	さくら市消費生活条例の制定について	可決	6月16日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	さくら市議会議員及びさくら市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	可決	6月3日	14	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	さくら市税条例等の一部改正について	可決	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	さくら市都市計画税条例の一部改正について	可決	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	さくら市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	可決	6月3日	14	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	さくら市東日本大震災復興推進基金条例の廃止について	可決	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	補正予算	5	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度さくら市一般会計補正予算（第6号））	承認	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12		平成28年度さくら市一般会計補正予算（第1号）	可決	6月16日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他議案	追加1	総合交流ターミナルリニューアル建築工事請負契約について	可決	6月3日	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	追加議案1	広島市の平和記念式典に中学生代表の派遣を求める意見書（案）の提出について	可決	6月16日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	1	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	6月3日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

報告	件名	議決結果	議決日
1	平成27年度さくら市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
2	平成27年度氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
3	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）		
追加1	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）		

平成28年 第1回臨時会

（○…賛成、●…反対、欠…欠席）

議案番号	件名	議決結果	議決日	矢澤功	小堀勇人	手塚定	角田憲治	鈴木恒充	渡辺幸雄	石岡祐二	大橋悦男	若見孝信	永井孝叔	加藤朋子	小菅哲男	福田克之	菅原孝明	笹沼昭司	櫻井秀美	岡村浩雅	大河原千晶	賛成	反対	
その他議案	1 喜連川高校跡地第2グラウンド整備工事請負契約について	可決	7月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願・陳情審議結果

区分	件名	提出者	審査委員会	本会議結果
陳情第5号	広島市の平和記念式典に中学生代表を派遣する陳情	さくら市フィオーレ喜連川3-3-34 さくら市九条の会 代表 國井 博	文教厚生常任委員会	採 択 全会一致
陳情第6号	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書	壬生町幸町2丁目28番4号 川の日を国民の祝日にしよう会 会長 桑原史郎	総務常任委員会	継続審査 -

平成28年

第2回定例会 第1回臨時会

のあらまし



平成28年第2回定例会が6月3日から6月16日まで開催され、条例10件、予算2件、追加議案1件、追加議員案1件を原案通り可決・承認、諮問2件を同意しました。また報告4件がありました。一般質問では8名が登壇し市政を問いました。また、第1回臨時会が7月11日に開催され、議案1件を可決しました。

一般会計補正予算（第1号）

- 主な歳入補正
 - 地方道路整備事業補助金 5,850万円
 - 市道整備事業費 8,690万円

追加議員案

必要事項を定め、市民の消費生活のより一層の安定及び向上を図るものです。

- 小島 智子 氏（氏家）
- 渡邊 幸雄 氏（葛城）

- 主な歳出補正
 - 総合交流ターミナル施設リニューアル事業 3,075万4千円
 - 市道K1010号線他2路線道路改良事業 1億5,000万円

条例の制定

さくら市消費生活条例
消費者の利益の擁護及び増進に関する施策について

追加議員案
広島市の平和記念式典に中学生代表の派遣を求める意見書（案）の提出について
平成27年度で、広島市の平和記念式典に派遣されている自治体が栃木県内では既に10市町あります。非核平和都市宣言をしているさくら市としても、「戦後71年を迎え、原爆の悲惨さを風化させないため、平和学習の取り組みの重要性から、早急に派遣が実施できるような予算措置を含めた対応を講じるべき」と派遣の実現を求めるものです。

平成28年度 補正予算の概要（単位：円）

会計区分	一般会計（第1号）
補正額	1億6,385万7千
予算総額	194億6,385万7千

人権擁護委員候補者の推薦

平成28年度さくら市一般会計補正予算(第1号)「所管分」

Q さくら市結婚トータルサポート事業の昨年度の実績は。

A 12月20日と2月14日の2回、婚活イベントを実施した。それぞれ11組のカップルが成立し、成立割合は50%を超えている。

Q 地方創生交付金対象事業として計上した予算を今回減額補正しているが、今後の本事業への取り組みは。

A 市の一般財源予算で組んでいる270万円を活用し、年2回の婚活イベントと事前セミナーを開催していく。

Q 葛城大橋の工事は本年単年度で実施することのことだが、終了するのか。

A 国の予算配分に合わせたため本年単年度での計上となっているが、年度内の完了は難しく、繰越明許となる予定である。



旧喜連川高校統合書庫

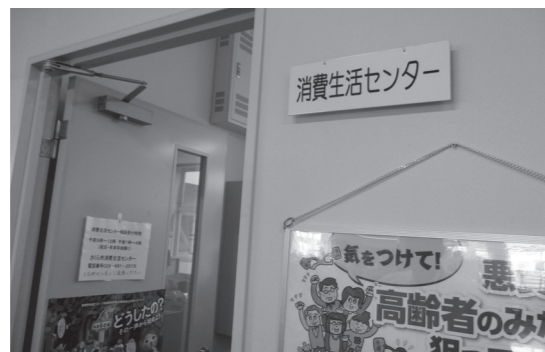
現地調査

- 旧喜連川高校統合書庫
- 早乙女桜並木の地盤沈下箇所
- 荒川の野辺山堰の一部流出箇所
- 栃木北東地区消防指令センター(大田原市)



現地調査

- 消費生活センター
- 早乙女桜並木の地盤沈下箇所
- 笹屋呉服店別邸



消費生活センター

さくら市消費生活条例の制定について

Q 消費者教育教材の充実等とあるが、どのようなものをどのように活用するのか。

A 学校等でパンフレットを配布したり、依頼があれば消費生活センターの相談員を派遣して講習会を開いたりする。

Q 今回の条例はさくら市独自のものか。

A 栃木県を参考に制定したものである。

平成28年度さくら市一般会計補正予算(第1号)「所管分」

Q 葛城大橋(K1010号線)上部工の工期は。

A この補助事業は単年度補助であるが、3月に繰越明許の手続きをすることにより、上部工は当初の予定と同じく2年工期となる見込みである。

Q K1010号線他2路線道路改良事業は橋梁部分だけの工事となるのか。

A 今年度は、橋梁右岸左岸の下層路盤までを実施する。



笹屋呉服店別邸



早乙女桜並木の地盤沈下箇所



栃木北東地区消防指令センター(大田原市)



現地調査

●氏家消防署
(普通救命講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。この講習を実際に体験したことにより、その重要性が確認できましたので、ぜひ他の議員、市職員にも学んでほしい講習であると感じました。)

●さくらスタジアム
(さくら市小学校陸上競技大会の大会運営)

●子ども発達支援センター
ぴーち

●障害者就労支援施設ハッピークローバー

●障害者専門歯科医院(スペシャルニーズセンター)

●認知症対応型共同生活介護施設つきみ荘

●地域密着型特別養護老人ホーム(建設予定地)

●ふれあい保育園

まず、世界文化遺産の歴史的建造物である厳島神社を視察しました。

平和祈念公園では、平和記念資料館、原爆ドームを視察し、戦争の悲惨さを再認識しました。



原爆ドーム

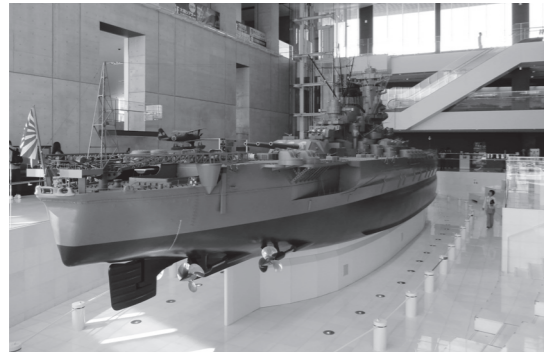
呉市海事歴史科学館・大和ミュージアムでは、館内に1/10の戦艦「大和」、零式艦上戦闘機、人間魚雷「回天」が展示されていました。いずれの施設も平和の尊さ、歴史や文化の大切さを体験できる施設でした。



氏家消防署



障害者専門歯科医院(スペシャルニーズセンター)



呉市海事歴史科学館・大和ミュージアム

兵庫県神戸市は、約400億円の造成費用で敷地面積205ha(甲子園球場約50個分)の総合福祉センター「しあわせの村」を平成元年に開村しました。「しあわせの村」は、高齢者や障害者の自立や社会参加を支援する福祉施設と、市民がリフレッシュできる緑豊かな都市公園を一体的に整備した複合施設です。平成27年度の年間利用者は190万6千人。1日平均5千人を超える利用者がありました。



総合福祉センター(しあわせの村)



総合児童センター(こべっこランド)

兵庫県神戸市の総合児童センター「こべっこランド」は、昭和62年11月に開館、1階から4階はこども家庭センター(神戸市児童相談所)、4階から8階は健全育成機能と療育指導機能を持つ総合児童センターです。その他、相生市で「道の駅 あいおい白龍城」、神戸市で「兵庫県立美術館」を見学しましたが、3日間で9ヶ所を視察する大変厳しい日程ではありましたが、有意義な研修となりました。

行政視察研修報告

文教厚生常任委員会

期日

●平成28年
5月17日、18日、19日

視察先

- 兵庫県相生市
- 広島県広島市
- 兵庫県神戸市

研修内容

- 子育て応援施策について
- 平和学習の取り組みについて
- 総合福祉センター(しあわせの村)について
- 総合児童センター(こべっこランド)について

兵庫県相生市では、(株)H-1の発展により最大4万2千人の人口を有していました。しかし、昭和60年代の構造不況による企業の規模縮小の影響で、人口が減少を続け、平成22年には3万1千人まで減少し、年少人口(15歳未満)が兵庫県内で最下位の11.6%

になりました。この危機的状況を乗り切るため平成23年4月1日「子育て応援都市」を宣言し、子育て、教育支援、定住促進への地域創生の取り組みを実施しました。

取り組みは、子育て世代をターゲットに定住促進策を「11の鍵」として11事業を展開してきました。11事業の予算総額は約3億1千万円で、その1つとして、市立幼稚園、小学校、中学校への給食費無料化は予算1億793万円で実施しています。

相生市子育て支援のパンフレット、ホームページが大変魅力的に作成されています。

広島県広島市は、「広島の平和記念式典に中学生代表を派遣する陳情」を受け、陳情審議に役立てるため現地に赴きました。

平成27年度の式典は、参加者が全体で5万5千人でした。会場内は全体で1万1千席、その内自治体席が2,510席です。

また、県内の市町派遣団が訪れた、周辺施設を視察しました。



櫻井 秀美 議員

一般質問 ここが聞きたい

塩谷広域行政組合ごみ処理施設建設と人見新管理者の考えについて

1日でも早く完成させ、安定した運営を行うよう努力する。

Q 2市2町の議員会からの要望書への新管理者の考えは。

A 今後は、2市2町の調整を図り、安全・安心な施設を1日も早く完成させ、安定した運営を行うよう努力する。

Q 今後の利活用のあり方と整備計画について。

A 利活用計画に基づいて、事業と講座、児童生徒の受け入れ、市民の学習発表の場になるソフト事業を実施する。整備計画は、現在、駐車場用地取得の進捗を進めている。他は、指定文

化財の修繕、敷地全体の環境や安全対策の整備、

来場者に対する施設整備などが挙げられる。

職員の人事評価制度と給与制度について

Q 能力態度評価と実績評価について。

A 本市では、平成20年度から「能力・態度評価」「平成25年度から「実績評価」を実施している。しかし、平成26年度の地方公務員制度改革の趣旨に鑑み、頑張った職員は報われる人事評価制度を確立することが必要と考える。

A 平成28年4月1日現在、技能労務職員及び再任用短時間職員を除いた職員数は311名。級別職員数は、部長級である7級の職員が11名、課長級である6級の職員が19名、施設長、主幹級である5級の職員が29名、課長補佐、副主幹級である4級の職員が41名、係長、主査級である3級の職員が105名、主任級である2級の職員が23名、主事、技師級である1級の職員が83名である。

旧瀧澤邸コンプレックス

Q 27年度及び28年度のイベントとその入場者数。

A 平成27年度は開館日数18日間、入場者が約1,500人であった。

平成28年度のイベントと入場者数は、4月1日から6月12日までの期間で、計44日間開館し、5月末日で合計325名の入場者であった。



旧瀧澤邸駐車場用地

Q 現在の級別職員数は（全職員）。

（全職員）。

※インバウンドの推進について

日本三大美肌の湯である、喜連川温泉をより前面に

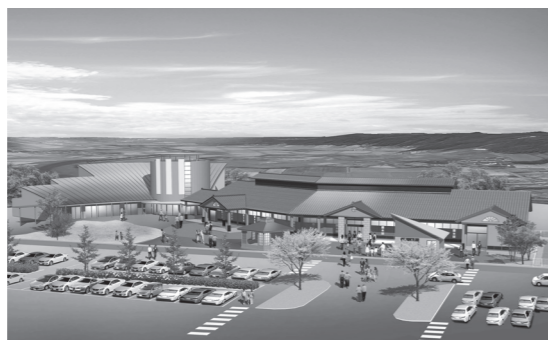
Q 本市において外国人観光客を呼び込む観光資源としては何を想定しているのか。その理由と根拠は。

A 長年続くイベントや歴史・文化施設が挙げられるが、旅行会社等への情報量が不足しているのが現状である。今後、積極的に情報の提供・商品づくりを行いたいと考えている。その中で、日本三大美肌の湯である、喜連川温泉をより前面に押し出し、観光農園体験や工場見学、食事といっ

たツアーリズムに波及したいと考えている。

Q 本市における訪日外国人旅行者の消費目標額を設定してはどうか。

A 現在、本市における外国人の入れ込み客数が少ない状況でもあることから、設定せずに、まずは誘客の体制作りを行いたいと考えている。



温泉施設を備える「道の駅きつれがわ」(リニューアル中)

介護離職対策について

Q 本市における介護離職数や介護をしながら働いている人の数や、年代、性別、介護期間などの現状はどうなっているか。把握していない場合は実態調査を行ってはどうか。

A 現在のところは、把握できていない状況である。今年度、国において「介護する家族の就労継続への支援に、効果的な介護サービスの在り方を、的確に把握するための、調査手法の開発調査事業」を行っていく予定である。

Q 本市での必要なサービスは確保できているか。施設はあっても看護師・介護士が不足しているため入所できないといった状況はあるのか。

A 各施設とも、国で定める人員配置基準より、手厚く職員配置がされており、市内にある施設では、今のところ、入所に影響がでるような状況ではない。



若見 孝信 議員

一般質問 ここが聞きたい

※インバウンドとは、旅行業界で、海外から国内へ来る観光客の事を言います。



福田 克之 議員

一般質問 ここが聞きたい

さくら市の女性活躍推進と男女共同参画推進について

本年度中の都市宣言に向けて取り組み

Q 市としての女性活躍推進の取り組み状況は。

A 今年4月に女性活躍推進法に基づき、特定事業主行動計画を策定した。

Q 「男女共同参画宣言」や民間企業の連携など今後の取り組みは。

A 今後、市として都市宣言に向けたパブリックコメントや、男女共同参画推進委員による

企業訪問や、意見交換などを引き続きおこなっていく。



さくら市ホームページより

Q 4月から業務状況について現在の取組状況は。

A 既存企業の訪問を開始し、情報収集を進めている。

Q 就活応援、移住セミナーなど、他の部署との事業連携は。

A 他部署の観光PRなどの機会とタイアップして、企業誘致や移住についてのPRを進める。

Q 国、県、民間企業、団体との連携は。

国、県、民間企業、団体との連携は。企業版のふるさと納税制度の内容が示されたので、企業側の意向も踏まえて合同面接会、企業研修会等を検討する。

さくら市の観光UPについて

Q 道の駅きつねがわ工事期間中の観光PRは。

A 新たに「道の駅きつねがわ」のホームページを作成し、リニューアル情報を幅広く市内外に向けて発信機能を充実させる。

「アステイネーションキャンペーン」について、市としての取り組みは。

Q 2018年4～6月に栃木県とJR東日本が県を対象地として実施する大型観光キャンペーン

さくら市、宇都宮市を含めた県央7市町は、インターネットアプリケーションを利用したモバイルスタンプラリーを、今年4月から年間を通して開始し、観光交流人口が増えるようより一層PRしたい。

障害者差別解消法の運用は

法の趣旨を遵守し、対応を徹底していく

Q 施設の改善及び整備は、職員の対応は。

A 公共施設は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に沿って整備してきた。さらに庁舎の再配置など活用の最適化に取り組んでいく。職員対応は「対応要領」を作成した。今後も継続的に周知徹底を図っていく。

Q 障害者差別解消支援地域協議会の設置は。

A 地域自立支援協議会に、障害者差別解消支援地域協議会の機能を持たせる形で上半期中の設置を目指す。

Q 情報格差の解消は。

A 広報紙はボランティアによる音声化、ホームページでは文字拡大やルビ振り・色変更、また音声読み上げが可能となっている。

Q 学校現場での対応は。

A 教職員には「対応要領」「留意事項」を策定して研修・啓発を行い、「地域自立支援協議会」の力を借りながら法の趣旨を遵守していく。

Q 災害時の対応は。

A 避難行動要支援者情報台帳に登録して警察署、消防署等関係機関とも情報を共有し、災害時の要支援者の支援に活用する。

ソーシャルビジネスの可能性を問う

Q 社会的課題をビジネスのノウハウで解決するソーシャルビジネスには、地域の資源、施設の有効活用、雇用の創出、市民の生きがい作り、地域コミュニティの活性化等様々な効果が期待される。当市でも積極的に取り組んでいく。

当市ではNPOによる福祉有償運送事業や廃校学校施設活用、また児童養護施設、地域密着型特別養護老人ホーム、障害児通所支援事業所等に市有地の賃料減額した事例もある。事業が公益性が高いこと等が判断の主な基準である。市としては、資金確保や経営のノウハウ等の側面的支援が必要と捉えている。



加藤 朋子 議員

一般質問 ここが聞きたい



障害者差別解消法リーフレット



大河原 千晶 議員

公共交通のついで

今後とも民間路線バスの維持に努めていく

Q 東野路線バスに対する補助金に対し、どのように評価し考えているか。

A 平成27年度の交付額は、馬頭線が約49万円、フィオーレ線が約627万円。

馬頭線は赤字ではないが、比較的安定した運行状況である。一方フィオーレ線は、現行のままでは、利用者増加が見込めないことから、市では路線変更による収支改善を検討している。

Q デマンドタクシーとの連携事業で平成27年度より金券補助を行っているが、一年経過した実績は。

A 金券補助は、利用者が民間路線バスに乗り継いで目的地に向かう場合、運賃の一部をさくら市公共交通利用促進事業として助成する制度。平成27年度の交付実績は7人。さらなる周知に努める。

Q 現時点において、東野バス路線の変更や改善点はあるか。

A 現在、フィオーレからお丸山までの路線をフィオーレから桜ヶ丘地内までに変更することを検討中。また、デマンドタクシーから民間路線バスへの乗継を促進する

ため、喜連川地区内のバス停に地方創生加速化交付金を活用し屋根を設置、

乗継拠点として整備することも検討している。

喜蒲沢公園のついで

Q 湖沼公園の開放についての進捗は。

A 昨年6月議会の後にフェンス設置、安全対策のための護岸改修工事等の試算を行った。平成28年度予算編成で検討したが、整備に多額の費用が必要なこと、他にも優先すべき事業があったことから、予算計上を行うに至らなかった。今後も、費用対効果や出水時の管理体制など様々な検討を加えていきたい。

Q 湖沼公園の閉園の経緯は。

A 閉鎖されてから概ね24年が経過しており、閉鎖に関する書類等は既存していない。当時の喜連川町において判断され閉鎖した。



公共交通利用促進事業（金券）



小菅 哲男 議員

防災強化、自治体が今できることについて

※BCPは平成29年度完成を目標に対応

Q 自治体のBCPを構築しているのか、また、どのように考えているのか。

A 市は、「さくら市地域防災計画」を基本的かつ総合的な計画として、大規模災害を想定し、災害予防の観点から、災害応急対策、災害復旧対策までの様々な取組みを行っている。しかしながら、BCPは策定していない。平成29年度完成を目標に対応していく。

Q 公共施設、市内一般住宅、各行政区公民館の耐震化率は。また、今後の対応は。

A 公共施設92・4%、市内一般住宅81%、行政区公民館50・9%、避難所に指定している施設81・2%。防災の観点からは一層耐震化に努め、補助制度をより一層周知して活用を促していく。

自治体間の交流について

Q 現状の交流内容は。

A 平成18年1月に茨城県古河市と姉妹都市盟約及び災害時における相互応援協定。平成25年1月に埼玉県加須市とも同様の協定を締結。古河市「よかんべ祭」、加須市「市民平和祭」に参加。平成26年5月から奇数月の市広報紙に「姉妹都市だより」を掲載。加須市とは、お互いの防災訓練に職員を派遣。

Q 交流事業が災害救助活動に果たす役割は。

A 自治体間の交流及び災害救助活動は重要。東日本大震災時、古河市から給水車を借用し、給水活動を円滑にできた。

ひいては災害時相互応援協定の締結をすることも検討していく必要があると考える。

Q 今後、姉妹都市、友好都市、友好交流都市、国際交流都市等を増やす考えは。

A 日本海側や西日本の自治体と交流をもち、

国際交流都市については現在、中国、アメリカ、オーストラリアの都市と交流・派遣等を行っているが、友好都市締結には至っていない。国際交流では、多額の費用も必要となることから、交流による効果等も勘案し、相手側の意向も踏まえて判断していく。

その他の質問

小・中一貫教育について

※BCPとは、災害が発生しても自治体として業務を継続する為の計画

その他の質問

公共下水道について



岡村 浩雅 議員

Q 民生委員・児童委員定例会、研修会等での父子家庭支援制度周知の考え。

A 現在ひとり親世帯で子どもを養育している児童扶養手当の申請世帯数は母子で3388世帯、父子で18世帯、合計で3506世帯となっている。

Q 市内、母子家庭・父子家庭それぞれの世帯数について。

学童保育時間延長を検討する

ひとり親家庭支援(特に父子家庭)について

A 毎年、市の3地区ごとに開催される「民生委員・児童委員定例会」において、児童課の事業概要の説明と支援事業の周知をお願いしている。

Q 学童保育時間延長の考えはあるか。

A 公募条件の変更、契約の変更、委託契約の見直しにより時間延長を検討する。



大橋 悦男 議員

行政経営の現状と今後の課題について

効果的効率的な行政経営に努力

Q 今後予想される行政需要の内、大きな財政負担となるものは何か。

A 1点目は社会保障費の大きな需要が見込まれる、2点目は塩谷広域行政の負担金(ごみ処理施設の整備費)、3点目は氏家地区の学校給食センターの整備費、4点目は老朽化施設の修繕、更新費用等

Q さくら市総合計画の今後5年間の実施計画における財政計画は、財政健全化が図れるものか。

A 財政計画は、平成27年度を基準とし平成32年度までの5年間の歳入歳出見込みを予算ベースで作成、ローリング方式で毎年見直しをする。平成32年度においては歳入歳出167億円を計画。現状では合併特例債の積極的な活用に伴い、普通建設事業費や公債費が大きく増加したことで計画

との乖離が生じているが、合併5年間で170億円を下回る規模で推移してきたことや、本市の標準財政規模から判断すれば適正と考えており、達成に向けて努力していく。

Q さくら市の人口ビジョンにおける一般会計への影響は。

A さくら市の人口ビジョンは、将来的に人口減少が加速した際高齢者医療の大幅な増加、市税の減少等提示したが、人口減少を軽減することが重要と理解してもらおうもので、必ずしもこの試算どおりの影響が出るものとは捉えていない。しかしながら、持続

空き家対策について

Q 空き家バンクの取り組みは。

A 空き家を地域の貴重な資源と捉え定住化促進の有効方策と考える。市内宅地建物取引業者と

性のある行政基盤を確立することは市の総合計画の基本であるためさら

なる行政運営に努力していく。



第2次さくら市総合計画



ひとり親家庭等ガイドブック

重度心身障害者医療費現物給付について

Q 平成24年7月24日に栃木県障害福祉課の主催による検討会後の議論の進捗状況は。

A 平成24年10月から宇都宮市、平成25年4月から日光市が現物給付を導入。その実績を踏ま

Q 市単独での現物給付導入の考え。

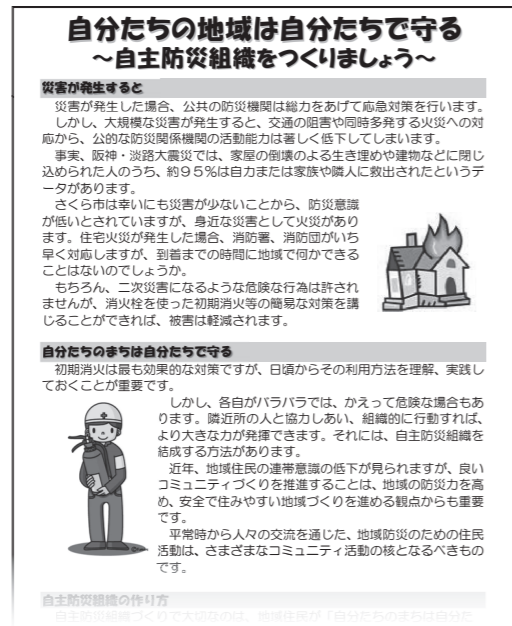
A 国保等国庫負担減額継続し、県に負担割合の見直しがあれば、現物給付導入を検討したいと考えている。

その他の質問

ごみステーション設置場所について

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映しているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

自主防災組織への助成について



被害が発生する
災害が発生した場合、公共の防災機関は総力をあげて応急対応を行います。しかし、大規模な災害が発生すると、交通の阻害や同時多発する火災への対応から、公的防災関係機関の活動能力は著しく低下してしまいます。事実、阪神・淡路大震災では、家の倒壊による生き埋めや建物などに関し込められた人のうち、約95%は自力または家族や隣人に救出されたというデータがあります。さくら市は幸いにも災害が少ないことから、防災意識が低いとされていますが、身近な災害として火災があります。住宅火災が発生した場合、消防署、消防団がいち早く対応しますが、到着までの時間に地域で何かできることはないのでしょうか。もちろん、二次災害になるような危険な行為は許されませんが、消火栓を使った初期消火等の簡易な対策を講じることができれば、被害は軽減されます。

自分たちのまちを自分たちで守る
初期消火は最も効果的な対策ですが、日頃からその利用方法を理解、実践しておくことが重要です。しかし、各自がバラバラでは、かえって危険な場合もあります。隣近所の人と協力しあい、組織的に行動すれば、より大きな力が発揮できます。それには、自主防災組織を結成する方法があります。近年、地域住民の連携意識の低下が見られますが、良いコミュニティづくりを推進することは、地域の防災力を高め、安全で住みやすい地域づくりを進める観点からも重要です。平常時から人々の交流を通じた、地域防災のための住民活動は、さまざまなコミュニティ活動の核となるべきものです。

自主防災組織の作り方
自主防災組織づくりで大切なのは、地域住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を醸成することです。

以前は…

現在は…

さくら市では、災害に強いまちづくりという政策の実現に向けて、災害発生時には市民が自主的に行う初期活動や、地域の防災力を向上することが重要であると考え、自主防災組織の設立と強化に力を入れている。しかし、活動に対しての助成制度は、避難訓練を行う際の通知案内代、講師を招いて防災の講話等を行う場合の講師謝礼など、いわゆるソフト事業のみが補助対象であり、防災活動に必要な資機材、いわゆるハード事業は対象ではなかった。さらには、その助成を受けるにあたってプレゼンテーション審査を通過しなければならなかった。

平成28年度より、市内の自主防災組織がその設立に伴う初期投資として防災活動に必要な資機材等（災害時に必要となる発電機や、ヘルメット等）を購入する事業に対し1団体につき1回、**上限50万円**まで補助金が交付されることとなった。交付にあたっては市民活動助成金を含め補助金の交付を受けたことのない団体が対象で、平成30年まで事業が実施される。この事業により、さくら市ではより自主防災組織を設立しやすい環境を整え、より一層自主防災組織設立を推進していく。

「議会だより」の配置場所

- さくら市役所本庁舎
- 氏家・喜連川保健センター
- 市営露天風呂
- 喜連川支所
- さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
- 和い話し広場
- 氏家・喜連川公民館
- e プラザ壱番館
- 氏家福祉センター
- 氏家・喜連川体育館
- 道の駅きつれがわ
- 喜連川社会福祉センター
- 氏家・喜連川図書館
- 市営もとゆ温泉
- 氏家・上松山・喜連川児童センター

県市議会議長会議
平成28年4月21日

県内市議会の情報交換を行いました。

関東市議会議長定期総会
平成28年4月26日

全国市議会へ提出する議案について議論を行いました。

県北五市議長会議
平成28年5月26日

県北五市（大田原・矢板・那須塩原・さくら・那須烏山）議会の情報交換を行いました。

全国市議会議長定期総会
平成28年5月31日

全国から集った議案について議論を行いました。

議場見学
(小学3年生)
6月14日 南小学校
6月17日 熱田小学校

各種委員会出席

さくら市消防団辞令交付式
4月2日

塩谷広域行政組合議会臨時会
5月17日

さくら市観光施設管理協会理事会
5月20日・6月13日

関東都市監査委員会定期総会
5月23日

決算審査
6月27日

感謝状

県市議会議長会感謝状
(前市議会議長)
・大橋 悦男 議員
(前市議会副議長)
・福田 克之 議員

監査
例月現金出納検査
4月25日

県市議会議長会感謝状
(前市議会議長)
・大橋 悦男 議員
(前市議会副議長)
・福田 克之 議員

例月現金出納検査
4月25日

県市監査委員会総会
5月17日

関東都市監査委員会定期総会
5月23日

決算審査
6月27日

議場見学
(南小学校)

日	内容
4月2日	さくら市消防団辞令交付式
4月6日	東洋バレーメディカル学院入学式
4月6日	栃木県市議会議長会監事会
4月7日	さくら市遺族会総会
4月7日	さくら市清修高等学校入学式
4月10日	第8回ゆうゆうパークさくらまつり
4月10日	第21回きつれ川商工様まつり
4月11日	さくら市立中学校入学式
4月12日	さくら市立小学校入学式
4月13日	さくら市いきいきクラブ連合会総会
4月14日	議会広報委員会
4月15日	さくら市身体障害者福祉会総会
4月19日	副市長退任式
4月20日	議会広報委員会
4月21日	第20回栃木県市議会議長会総会
4月22日	議会広報委員会
4月24日	さくら市子ども会連合会総会
4月24日	さくら市文化芸術祭第8回邦楽祭
4月25日	例月出納検査
4月26日	第82回関東市議会議長会定期総会
4月29日	さくら市ミュージアム「荒井寛方記念館」開館記念まつり
5月3日	さくら市ミュージアム友の会総会
5月6日	光明寺防火・防災祈願祭
5月6日	塩谷広域行政組合議会議員会
5月8日	さくら市ソフトボール協会総会
5月10日	自然に親しむ会総会
5月10日	さくら市国際交流協会定期総会
5月13日	国立きぬ川学院園遊会
5月17日	氏家商工会第56回通常総会
5月17日	栃木県都市監査委員会総会
5月17日	塩谷広域行政組合議会臨時会
5月18日	文教厚生任委員会行政視察(19日まで)
5月18日	さくら市市長会総会
5月27日	決算審査
6月1日	荒川河川改修促進同盟会総会
6月3日	主要地方道大田原氏家線改修促進期成同盟会総会
6月3日	第2回定例会開会
6月3日	議会広報委員会
6月6日	第44回喜連川観光協会総会
6月7日	第2回定例会一般質問
6月7日	公益社団法人氏家法人会さくら支部第4回全体会議
6月8日	第2回定例会文教厚生任委員会
6月9日	さくら市小学校陸上競技大会
6月9日	第2回定例会建設経済常任委員会
6月10日	第2回定例会総務常任委員会
6月11日	さくら市立中学校国際交流事業オリストラリア派遣結団式
6月11日	さくら市立氏家中学校運動会
6月13日	さくら市喜連川中学校体育祭
6月13日	さくら市観光施設管理協会理事会
6月16日	第2回定例会閉会
6月17日	氏家観光協会総会
6月19日	さくら市消防団夏季点検
6月19日	第11回消防ポンプ操法競技会
6月21日	塩谷広域行政組合議会議員会
6月27日	例月出納検査
6月27日	決算審査
6月28日	菅原良別邸開放イベント
6月28日	第18回JALしおのや通常総代会
6月27日	県道野田喜連川線改修促進期成同盟会総会
6月26日	例月出納検査
6月25日	県北五市議長会議
6月24日	議員全員協議会
6月24日	関東都市監査委員会定期総会
6月22日	第57回喜連川商工会通常総会
6月23日	議会運営委員会
6月22日	第11回さくら市少年少女レスリング大会
6月21日	第7回さくら市ホビーコンプレックスフェスティバル
6月20日	さくら市観光施設管理協会理事会

市民の

声



健康づくりの一步に「笑いヨガ」



津浦 景子（穂積）

「笑いヨガ」のリーダーとして公民館を中心に活動を始めて一年になります。

大きな声で笑っていますか。笑いは免疫力アップや脳の活性化の他、心の健康にも効果が高いと言われています。その時の気分に関係なく、ハハハと声を出して体操として笑つのが、「笑いヨガ」です。呼吸に関する筋肉が動き酸素をたっぷり取り入れられ健康と活力を実感できます。最初は健康体操として笑いますが、皆で集まって行うことで、笑いが伝染していき無理な

く笑えるようになります。道具は何もありません。年齢や体力に応じて行えますので誰でも楽しめます。何人かで集まって行うことで仲間意識も高まります。

さくら市では、健康づくりや生きがいづくりを推進しています。家の中で、しゃべらない・笑わない・あまり運動をしない方、運動することをためらっている方、気軽に笑いヨガを始めませんか。健康づくり生きがいづくりの一步を踏み出してみましょう。

お知らせ

議会報告会及び意見交換会

を開催します

市民のみなさまに市政や議会活動を広く知っていただくため、市議会議員による議会報告会及び意見交換会（テーマはさくら市の観光振興について他）を開催します。

どなたでも参加できますので、お気軽に会場へお越しください。

8月23日(火) 午後7時から

喜連川公民館（喜連川4397番地1）

※問い合わせ先：さくら市議会事務局
電話 028-681-1123
FAX 028-682-3921

次回9月定例会予定

9月2日(金)～9月21日(水)

*正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

下記でもお知らせしています。



さくら市ホームページ



さくら市公式フェイスブック



さくら市公式ツイッター



広報さくら



とちぎテレビデータ放送



RADIO BERRY (FM 栃木)

編集後記

今年の栃木県総合防災訓練は、さくら市総合公園において、8月28日に行つて予定です。この訓練は、関東大震災が発生した大正12年9月1日を防災の日と定め、災害に備え各種訓練を実施しています。

さくら市としても、地域防災の必要性が重要視され自主防災組織の立ち上げを推進しています。災害はいつ来るかわからないものです。

議会としても、安心して安全な住み良いまちづくりに努めてまいります。（石原孝明）

議会広報委員会

- | | |
|--------|-------|
| ◎笹沼 昭司 | 加藤 朋子 |
| ○岡村 浩雅 | 藤岡 祐二 |
| 大河原 千晶 | 石岡 康男 |
| 櫻井 秀美 | 渋谷 角田 |
| 石原 孝明 | |



さくら市議会だより
No.46

発行日 平成28年8月1日
発行 さくら市議会
編集 議会広報委員会

〒329-1392 栃木県さくら市氏家2771
TEL 028-681-1123 FAX 028-682-3921
MAIL gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp